

HP OpenView AssetCenter

ソフトウェアバージョン : 5.0

照合更新

ビルド番号 : 233



利用規約

保証

HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品またはサービスに付帯する明示的保証条項でのみ規定されます。

本規定のいかなる部分も、他の保証を構成すると解釈されるものではありません。

HPは本書の技術上または編集上の誤謬、欠落についての責任を負わないものとします。

本書に含まれる内容は、予告なく変更される場合があります。

限定保証条項

機密コンピュータソフトウェア

所有、使用、コピーには、HPによる有効なライセンスが必要です。

FAR12.211および12.212準拠。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアマニュアル、技術データは、ベンダの標準商用ライセンスに基づき、米国政府にライセンス供与されています。

著作権

(c) Copyright 1994-2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標

- Adobe®, Adobe Photoshop® and Acrobat® are trademarks of Adobe Systems Incorporated.
- Corel® and Corel logo® are trademarks or registered trademarks of Corel Corporation or Corel Corporation Limited.
- Java™ is a US trademark of Sun Microsystems, Inc.
- Linux is a U.S. registered trademark of Linus Torvalds
- Microsoft®, Windows®, Windows NT® and Windows® XP are U.S. registered trademarks of Microsoft Corporation.
- Oracle® is a registered US trademark of Oracle Corporation, Redwood City, California.
- UNIX® is a registered trademark of The Open Group.

目次

はじめに	7
照合更新とは?	7
照合更新モジュールの機能とは?	7
照合更新モジュールの対象ユーザは?	9
本ガイドの使用方法	9
1. 概要	11
照合更新モジュールの導入手順	11
2. 照合更新プロセス	13
照合更新ルール of 定義 - 管理者の操作	14
照合更新提案の承認 - ユーザの操作	16
3. サンプルシナリオ	19
カタログの更新 (サンプルシナリオ)	19

図の一覧表

1. 照合更新プロセス	8
2.1. 照合更新プロセス	14
2.2. 照合更新提案テーブル	17
3.1. Catalog.scnシナリオの図	20
3.2. catalog.scnシナリオの照合更新提案	22

はじめに

照合更新とは？

「照合更新」とは、ターゲットアプリケーションの既存データより新しいとみなされたソースアプリケーションからの入力データをデータベースに統合するプロセスを意味します。

このプロセスのベースとなるのは、「照合更新したい情報がターゲットシステムに既に存在しているかどうか」です。

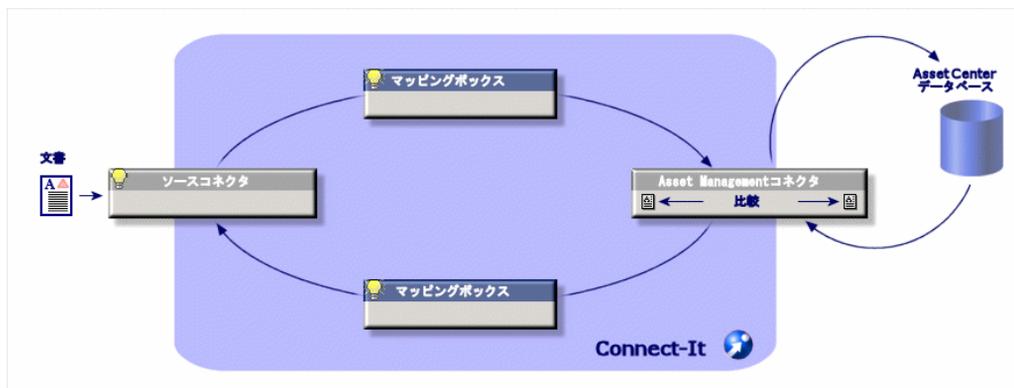
- 答えが「いいえ」の場合、入力データはそのまま挿入されます。
- 答えが「はい」の場合、既存データは入力データに含まれる情報にしたがって更新されます。

照合更新モジュールの機能とは？

照合更新モジュールでは、外部ツールから取得されたデータを使用して、AssetCenter内のレコードを更新することができます。

このようにして、データベースの登録に使用される情報を制御したり、特定条件を使用した手動または自動承認プロセスを実行することができます。

図 1. 照合更新プロセス



照合更新モジュールでは次のプログラムを使用する必要があります。

- Connect-It (AssetCenter 5.0に付属)

データベース管理者はConnect-Itにスクリプトを挿入することで、照合更新ルールを定義することができます。AssetCenterデータベースのデータ更新は、ユーザが選択した条件に応じて自動または手動で行われます。

外部アプリケーションからAssetCenterへのデータ転送用に、1つまたは複数の統合化シナリオが用意されています。

警告:

照合更新モジュールの使用に際しては、Connect-It統合プラットフォームに関する知識が必要です。

Connect-Itの使用に関する詳細は、『ユーザーズガイド』を参照してください。

照合更新モジュールをフルに活用するには、Connect-Itで以下の項目を用意する必要があります。

- ソースコネクタ

この外部アプリケーション (Enterprise Discovery、LDAPなどのスキャナ) はAssetCenter内のレコード更新に使用されるデータを提供します。

- ターゲットコネクタ

現在、ターゲットコネクタとしては資産管理のみがサポートされています。

AssetCenterのamReconcProposalテーブルには管理者が指定した照合更新提案が記録されており、これらは手動で承認することができます。

照合更新モジュールの対象ユーザは？

照合更新モジュールは次のユーザを対象としています。

- データベースの更新の自動化を希望するAssetCenterの管理者:Basicスクリプトを用いてConnect-Itで照合更新ルールを作成します。
- AssetCenterで照合更新提案の処理を担当しているユーザ:照合更新提案テーブル(amReconcProposal)を使用して提案の管理、承認を行います。

本ガイドの使用方法

「概要」の章

本章では、照合更新モジュールの導入プロセスの概要を示すとともに、このモジュールの機能についても説明します。

「照合更新プロセス」の章

本章では、Connect-It（管理者機能）でのルール定義および（指定ユーザによる）その後の照合更新提案の管理、という2つの標準的な更新プロセスについて説明します。

「サンプルシナリオ」の章

本章では、AssetCenterのカタログ更新とインベントリ後のポートフォリオ更新という、2つの照合更新シナリオの例を示します。

1 概要

AssetCenterの照合更新モジュールはお客様のデータベースの更新を円滑に行うために設計されています。このモジュールは、照合更新条件を定義する役割を切り離すことで、ルールを技術的に実装し、実際に適用します。

AssetCenterの照合更新モジュールを使用することで:

- データベースレコードの更新に使用する条件を徹底的に定義できます。
- 適時、更新プロセスを自動化できます。
- データベースへの統合前に、精査が必要な変更内容を手動で承認できます。

照合更新モジュールの導入手順

AssetCenterのデータの照合更新には次のプロセスが含まれます。

- 企業の社内データの制御条件の分析
データベース内の変更に対する制御範囲を定義しなければなりません。例えば、セールスマネージャの場合、一定限度内での価格変更は自動化したいが、大規模な価格変更の場合は個々の承認を行いたいこともあります。
- ビジネスルールセットの作成
ニーズの分析が終了すると、次に優先順位と制御条件を定義できます。
- 制御条件の技術的統合
このステップでは、管理者はConnect-ItにBasicスクリプトを追加します。このスクリプトは照合更新ルールを作成し、手動承認を必要とする変更が生じると、照合更新提案テーブル(amReconcProposal)内にレコードを生成します。

- 変更の手動承認

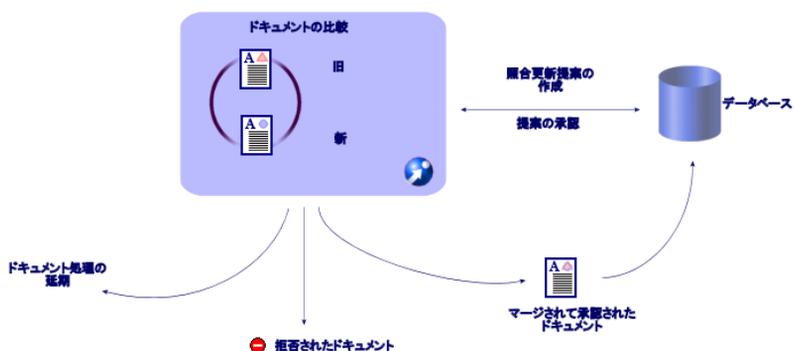
ユーザがAssetCenterの各照合更新提案を個別に承認します。このステップを踏むことにより、データベースの統合を行う前に、変更内容を完全に制御することができます。

2 照合更新プロセス

照合更新モジュールの使用にあたっては、次の2つのステップを踏む必要があります。

- Connect-Itアプリケーションで照合更新ルールを検討し、編集する
このステップは、更新データに対する制御範囲を決定するデータベース管理者用です。
- AssetCenterの**amReconcProposal**テーブルの照合更新提案の管理
このステップは、新旧データの比較時に行われる照合更新提案の承認を担当するユーザが行います。

図 2.1. 照合更新プロセス



照合更新ルールの定義 - 管理者の操作

AssetCenterで照合更新モジュールを使用する前に、管理者はまず照合更新ルールを作成しなければなりません。このステップでは、Connect-ItにBasicスクリプトを追加する必要があります。

catalog.scnおよびedac.scnシナリオには、デフォルトでカスタマイズ可能なBasicスクリプトがあります（本マニュアル内にもいくつかの例が記載されています）。Basicスクリプトは、Connect-Itのマッピングまたはドキュメントタイプウィンドウの [**Reconciliation scripts**] タブで編集することができます。

このスクリプトには次の2つの照合更新専用の関数が使用されます。

- Update (**ValidateReconcUpdate**)
 - Insert (**ValidateReconcInsert**)
-

 **警告:**

照合更新モジュールが正しく機能するためには、Asset Managementコネクタのレベルで [**Execute the reconciliation scripts**] オプションが選択されていることを確認してください。

- 1 Connect-Itシナリオエディタの開始。
 - 2 詳細設定をアクティブにします ([**Tools/ Advanced configuration**] メニュー)。
 - 3 シナリオを開きます。
 - 4 Asset Managementコネクタ ([**Scenario scheme**] パネル) を選択します。
 - 5 シナリオ設定ウィザードを開始します ([**Tools/ Configure**] メニュー)。
 - 6 ウィザードの [**Advanced configuration**] ページを表示します。
 - 7 [**Execute the reconciliation scripts**] オプションを選択します。
 - 8 設定を確定します ([**Finish**] ボタン)。
-

照合更新モジュールを使用するには:

- 1 マッピングまたは使用されるドキュメントタイプウィンドウの [**Reconciliation scripts**] タブにアクセスします。
 - 2 デフォルトで提供されているBasicスクリプトを編集します。
 - 3 インベントリ時に発生した変更内容の手動承認が必要な場合は、関数 (**ValidateReconcUpdate** または **ValidateReconcInsert**) を使用します。データベースの変更が発生した場合は、照合更新提案が **amReconcProposal** に作成されますが、これらの提案に対する手動承認が必要です。
-

 **注意:**

手動承認を使用せずに、更新プロセスを単に自動化する場合は、上記の関数を使用せずに、 [**Reconciliation Scripts**] タブに必要なスクリプトを追加します。

 **注意:**

ValidateReconcUpdate および **ValidateReconcInsert** 関数のパラメータについての詳細は、config\ac\bas フォルダにある ac.bas ファイル内のコメントを参照してください。



警告:

ValidateReconcUpdateおよび**ValidateReconcInsert**関数を呼び出すには、シナリオで使用する.basファイルリストにac.basファイルを追加する必要があります。

- 新しいシナリオの場合は、ac.basファイルがデフォルトでアクティブになります。
- 古いシナリオの場合は、ac.basファイルが [**Scenarios/Global functions**] メニューからアクセスできるリストでアクティブになっていることを確認してください。



警告:

AssetCenterで**amReconcProposal**テーブルの照合更新提案を承認したら、Connect-Itでそのシナリオを再起動する必要があります。このようにして変更内容は反映され、データが競合することがなくなります。



注意:

原則として、スケジューラを利用して、シナリオを定期的に再起動することをお勧めします。スケジューラの使用の詳細については、『Connect-It』ユーザガイドを参照してください。

照合更新提案の承認 - ユーザの操作

管理者は、**amReconcProposal**テーブルの詳細ウィンドウにある [担当者] フィールドに入力して、承認対象の提案をいくつかに分けます。保留中の照合更新提案リストには管理者しかアクセスできません。



注意:

デフォルトでは、AssetCenterデータベースの管理者権限を持つユーザのみが照合更新提案を割り当てることができます。

承認担当のユーザは、**amReconcProposal**テーブルから割り当てられた照合更新提案を管理します。

照合更新提案を手動で承認するには:

- 1 **amReconcProposal**テーブルを表示します。このテーブルには [ポートフォリオ / 照合更新提案] または [管理 / 画面一覧] メニューからアクセスできません。

図 2.2. 照合更新提案テーブル

名前	テーブル	パス	元	新	ステ	担当者
The reference price of ALMOFF98LT	amCatRef	fPrice	500	655	未割当	山田 浩志
The reference price of CD00345 at...	amCatRef	fPrice	84	96	未割当	
The reference price of CD00352 at...	amCatRef	fPrice	1248	1594	未割当	
The reference price of CD00359 at...	amCatRef	fPrice	82	113	未割当	
The reference price of CD00366 at...	amCatRef	fPrice	289	391	未割当	
The reference price of CD00366 at...	amCatRef	fPrice	383	466	未割当	

コード: CAT_REF_ALMOFF98LT DEMO-S32003 名前: The reference price of ALMOFF98LT
レコード ステータス: 未割当 担当者: 山田 浩志
テーブル: カタログリファレンス (amCatRef) パス: fPrice
元の値: 500
新しい値: 655
選択された値:
コメント:

照合更新提案はそれぞれテーブル内のレコードに対応しています。提案関連の情報はすべて詳細ウィンドウで見ることができます。

注意:

提案に関連するレコードの詳細を表示するには、詳細ウィンドウで [レコード] ボタンをクリックします。

承認者は、自分に割り当てられた照合更新提案リスト（承認済または未承認）にアクセスすることができます。

- 更新提案を承認するには、次の2つのオプションから選択できます。
 - 提案の [名前] フィールドの右側にある [元の値] または [新しい値] ボタンをクリックします。[ステータス] フィールドが自動的に入力され、ステータスが [承認済] に変わります。[新しい値] および [選択された値] フィールドも選択した条件にしたがって自動的に入力されます。

注意:

[Old val] および [New val] ボタンを使用すると、既存の値を直接統合することができ、処理時間を短縮できます。

提案を却下するには（インベントリに失敗した後など）、[却下] ボタンをクリックします。

- [Selected value] フィールドに必要な値を入力し、[Status] フィールドで提案のステータスを手動で選択します。
提案を却下するには、[ステータス] フィールドの [却下済] を選択します。

このプロセスはすべて手動で行い、[選択された値] フィールドに別の値を組み込むことができます。



ドキュメントを却下すると、照合更新提案およびインベントリ (FSFファイル) のすべての結果も同様に却下されます。

3 サンプルシナリオ

モジュールを使用した照合更新プロセスとその方法を説明するために、いくつかのサンプルシナリオを作成しました。これらのシナリオに関連するデータは、AssetCenterに付属のデモ用データベースに収録されています。

カタログの更新（サンプルシナリオ）

カタログを発行することで、ベンダの顧客の購入管理を簡略化することができます。カタログの更新には、手動更新または自動更新が必要です。AssetCenterの照合更新モジュールでは、更新プロセスに対する制御レベルをカスタマイズすることができます。

サンプルシナリオの目的

- この例では、次の変更に対する手動承認を依頼したものとします。
- 価格が1000ドルを超えるカタログの新規レコードを統合する
 - 価格の変動は10%以上

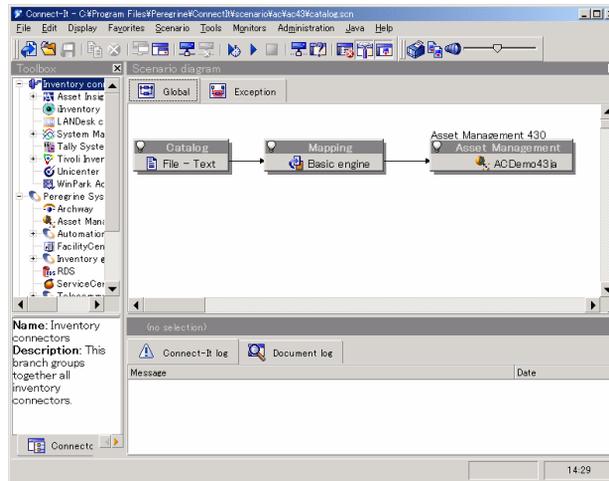
サンプルシナリオの使用

このサンプルシナリオを使用するために、AssetCenter提供のデモ用データベースに管理者として接続することをお勧めします。

catalog.scnシナリオを起動するには:

- 1 Connect-It統合プラットフォームの起動。
- 2 [**File/ Open**] メニューから、Connect-Itインストールフォルダの scenario\ac\ac4.3フォルダにある catalog.scn ファイルを選択します。シナリオの図が表示されます。

図 3.1. Catalog.scnシナリオの図



サンプルシナリオの条件を設定するスクリプトを表示するには:

- Asset Management target connectorを右クリックし、次に [**Edit a document type**] コマンドを選択します。
- 使用されるドキュメントタイプ amCatRef を編集し、 **fPrice** 要素にカーソルを置きます。
- [**Reconciliation scripts**] タブから、次に示す最初のスクリプトにアクセスできます。

```

新しい値 (vNewVal) が古い値(vOldVal)より10%以上大きいかどうかテスト
します。
If vOldVal = 0 OR vNewVal <= vOldVal * 1.1 Then
'新しい値が古い値より10%以上大きくないので、現状のままで返されま
す。
RetVal = vNewVal
Else
'新しい値は古い値よりも10%以上大きい場合。
'照合更新提案を保存し、手動で承認します。
RetVal = ValidateReconcUpdate("CAT_REF_" & [Ref] & [Catalog.Code] & [dPriceU
pdate], FormatResString(PifStrVal("RECONC_SAMPLE_PRICE_INCREASED"), [Ref

```

```
], [Catalog.Name], Int((vNewVal - vOldVal) / vOldVal * 100)), "amCatRef", "fPrice"  
, vNewVal, vOldVal, vOldId)  
End If
```

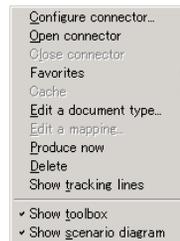
更新スクリプトの例: 価格が10%以上増加すると、照合更新提案が生成され、AssetCenterで承認しなければなりません。

- [**Reconciliation scripts**] タブからは、次のスクリプトにアクセスできます。

```
' 新しい値 (vNewVal) が1000ドル未満かどうかをテストします。  
If vNewVal < 1000 Then  
' 新しい値が1000ドル未満の場合は現状のままで返されます。  
RetVal = vNewVal  
Else  
' 新しい値は1000ドル以上です。  
' 照合更新提案を保存し、手動で承認します。  
RetVal = ValidateReconInsert("CAT_REF_" & [Ref] & [Catalog.Code] & [dPriceUpdate], FormatResString(PifStrVal("RECONC_SAMPLE_PRICE_TOOBIG"), [Ref], [Catalog.Name]), "amCatRef", "fPrice", vNewVal)  
End If
```

挿入スクリプトの例: カタログ内で1000ドル以上の新規レコードはそれぞれ1つの照合更新提案を生成し、AssetCenterでこれを承認しなければなりません。

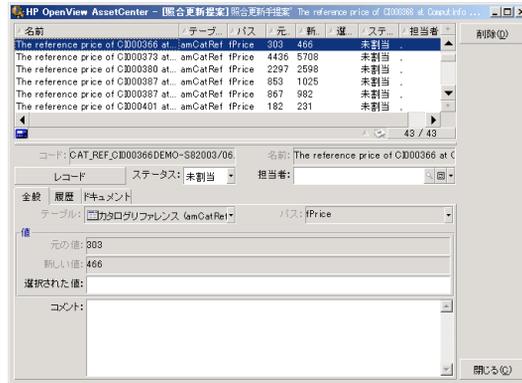
- 3 [**catalog**] コネクタを右クリックし、次に [**Produce now**] を選択します。



サンプルシナリオが立ち上がります。

- 4 AssetCenterで、[ポートフォリオ / 照合更新提案] メニューを選択します。必要に応じて、[**F5**] を押して日付を更新します。

図 3.2. catalog.scnシナリオの照合更新提案



照合更新提案が表示されます。

- 価格増加が10%未満のカatalog項目は自動的に更新されるのに対して、価格増加が10%以上の項目はデータベースに最終的に統合する前に検証する必要があります。
- 1000ドル未満の新しいレコードが自動的にカatalogに統合されるのに対して、1000ドル以上の新しいレコードはデータベースに最終的に統合する前に承認する必要があります。